

PTAだより

発行 北海道興部高等学校
PTA研修広報委員会
印刷 株式会社 ソーゴ

教育職員	12名
行政職員	3名
生徒数	
1年生	14名
2年生	11名
3年生	15名
計	40名

木は光を浴びて育つ

人は言葉を浴びて育つ



校長 大橋 一夫

陽を浴びて
輝く校庭の木
を、校舎の窓

から見てふと考えた。「木は光を浴びて育つ。それでは、人は何を浴びて育つのだろうか。」校庭は地域住民の散歩道に開放しており、近所のおばあさんが孫と何やら話しながら歩いているのが見えた。その時、そうか「人は言葉を浴びて育つのか。」と気がついた。人が成長する中で言葉は何より大切である……。

元京都市立堀川高等学校長の荒瀬克己氏は、著書「奇跡と呼ばれた学校」の中で言葉についてこのように書いている。興部高校では、今年度一年生の総合的な探究の時間で地場産品を使った商品開発の学習を取り入れた。札幌のウエブマーケティング会社の株式会社トンマナ、全国スーパーマーケット協会などプロの指導の下、興部ブランドの商品化に取り組んでいる。

第一回目の授業に向けて、講師の全国スーパーマーケット協会アドバイザーから「教科書を見せてほしい。」という依頼があった。「生徒さんたちが、普段目にしていない言葉や表現を知り、授業に生かしたい。」これが理由だった。伝える言葉を選ぶのために、相手が日常的に使っている教科書の言葉や表現を知りたか

ったのである。第一回目の授業は北海道新聞に紹介された。取材前、記者の方はこんなことをおっしゃった。「インタビューの質問の仕方です返ってくるコメントの質や内容が変わるんです。だから相手に合わせた言葉選びがとても大切なんです。」聞いた言葉の影響を受けて人は育つ。

新任教職員紹介



教諭 伊藤 航

この度、興部高校に着任しました伊藤航（いとこうわたる）と申します。教科は保健体育、分掌は生徒指導部（生徒会）、部活動は陸上競技部を担当しています。

出身は道南で一番大きな都市、イカと一〇〇万ドルの夜景で有名なイカサ街、函館市です。高校まで函館で過ごしたのち、宮城県内の大学へ進学しましたが、故郷北海道へ戻りたい気持ちが強くなり、自然豊かな北海道の地で現在、働かせていただいております。前任校はじゃがいものメークイン発祥の地といわれて

ならばどのような言葉を選べば良いのだろうか。

聞いた言葉の理解を重ねて人は学ぶ。ならばどのような言葉を選べば良いのだろうか。

聞いた言葉の方向に人の思考は働く。ならばどのような言葉を選べば良いのだろうか。

「話すことは、相手を思うこと」自分が話したいことを話す話し手主体の言葉ではなく、どうすれば伝わるかという聞き手の側に立った言葉選びの重要性を続けて体験し、「教育は言葉を通して生徒を育てる営みである」ということを改めて考えさせられた。



いる厚沢部町の館小学校です。田畑や山に囲まれて、田植え体験や学校農園できゅうりやミニトマトを育てたり、収穫したさつまいもを使った焼きいも作り、グラウンドに大きな雪山（ミニスキー場）を作って、スキー練習など……他にもまだまだありますが北海道の自然や特色を活かした学校教育に携わって参りました。興部町に向かう途中、多くの街を通ってきました。道南よりも遙かに広大な農地や牧草地を見たとき、「これこそ北海道だ！」と実感しました。雄大なオホーツクの地で生徒や保護者、地域の方と関わりながら頑張りますので、よろしくお願いたします。

興部高校の 新たな取り組み

興部高校では令和三年度から新たな取り組みを多数始めています。その一部をご紹介します。

○全校生徒を対象に スタディサプリを導入

興部町から費用を支援していただき、全校生徒がスタディサプリを使えるようになりました。スマートフォンやパソコンを用いて、受験対策や授業の予習復習、学び直し、検定対策等を学習することができます。放課後などにノートパソコンやタブレットの貸し出しも行っています。

○一学年総合的な探究の時間で 「商品開発」を実施

今年度から興部町観光協会様の協力を受け、「商品開発」を行っています。地域を知り、地域の特産品を使い、地域に貢献できる商品の開発を目指します。生徒はマーケティングや商品デザインを基礎から学び、流通までを行います。この「商品開発」を支えるのは、日本マーケティング協会を始めとした多様なプロ講師陣です。「商品開発」の課程では幅広い知識や周囲との協力が不可欠です。興部高校では「商品開発」を通じて、教科横断的な学習と協働的な学習を行っています。



○北海道高等学校遠隔授業配信 センター(T-base)からの遠隔 授業

今年度から、北海道高等学校遠隔授業配信センター(T-base)から配信される遠隔授業を行っています。専用の教材を用いて、専門性が高い教員からの授業を受けることができます。今年度は一年生の音楽Iのみの実施ですが、来年度以降は順次科目と学年を拡大し、数学や理科においてもより専門的な授業を受けることができるようになります。

○AIGrowを用いた資質・能力の 診断

興部高校では、学校教育目標に基づいた「育成する資質・能力を実現するための十一の力」を策定しています。従来の手法では測定することが困難であり、主観的な評価になってしまいがちな資質・能力について、AIとビッグデータ解析

に基づいたAIGrowを用いて測定しています。興部高校では旧来型の学力の向上だけでなく、変化に富んだ新しい時代を生きるために必要な資質・能力の育成を目指しています。

PTAの活動紹介

令和三年四月二十五日(日)、本校被服室で行われたPTA総会で、令和二年度事業報告・会計決算報告、令和三年度事業計画・会計予算の審議を行いました。議案につきましては議案書通りに決定し、役員改選につきましては承認を賜りました。また、今年度は、PTAだよりの発行回数削減とPTA役員の兼任についての審議が行われ、承認されましたのでご報告いたします。総会の後は、進路指導部による進路説明会、学年懇談会を行いました。長時間にわたり多数のご参加を頂き、ありがとうございました。

PTA理事会ににつきましては、六月七日(月)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症に関わる緊急事態宣言延長のため、書面開催とさせていただきます。

令和三年度 PTA役員

役員		役職		氏名		学年	
会長	副会長	佐々木良樹	笹岡 彰仁	三学年	二学年	加藤 聡	一学年
監査	事務局長	小泉 貴史	澤向 亮賢	三学年	教頭	水上 大司	教務部長
会計	事務局長	沖崎 誠	大橋 一夫	事務長	校長	藤原めぐみ	一学年
学年委員	一学年	藤原めぐみ	高橋ゆかり	二学年	副委員長	面 聖子	副委員長
二学年	委員長	笹岡さとみ	小泉かおり	三学年	副委員長	佐々木浩子	副委員長
専門委員	委員長	佐々木浩子	佐々木浩子	三学年	副委員長	陶 香織	副委員長
研修	委員長	高橋ゆかり	高橋ゆかり	二学年	委員	小泉かおり	委員
広報	委員長	高橋ゆかり	高橋ゆかり	一学年	副委員長	柄澤 歩美	副委員長
生活	委員	高橋ゆかり	高橋ゆかり	三学年	委員	藤原めぐみ	委員
指導	委員	高橋ゆかり	高橋ゆかり	一学年	委員	藤原めぐみ	委員